

豊明市ごみ減量に関する市民説明会(結果報告)

1 計画の概要

- (1) 豊明市家庭系ごみ減量化実施計画とは
豊明市におけるごみ減量化に向けた施策、目標等について定めたもの
(平成31年3月策定)

減量化目標

- ・令和元年度から可燃ごみを毎年5%減量し、4年間で20%減量する。
 - ・中間目標(令和2年度)の10%が達成できない場合、最終目標(令和4年度)の20%が達成できない場合はごみ処理手数料の有料化の実施を検討する。
- (2) 中間報告(令和3年度)
目標値に届いていなかったものの、コロナ禍という状況下においても減少傾向が続いていたため、令和4年度最終目標20%減量に向けて引き続き減量化に取り組んでいくこととした。

2 減量化目標の結果

年度	一人一日当たりの 家庭系ごみの量	減量化率 (対基準年度)
平成29年度	503g	基準年度
令和元年度	497g	△1.2%
令和2年度	499g	△0.8%
令和3年度	491g	△2.4%
令和4年度	473g	△6.0%

3 今後の方針

最終目標の20%減量には届いていないものの、減少傾向が続いているため、⇒現時点でごみ処理手数料の有料化は行わず、引き続き減量化に取り組んでいく。ただし、ごみの量が2年連続増加に転じた時点で、有料化の検討を行う。

一人一日当たりの家庭系ごみの量比較表

		基準年度 (平成29年度)	令和元年度	対基準年度 増減率	令和2年度	対基準年度 増減率	令和3年度	対基準年度 増減率	令和4年度	対基準年度 増減率
東部知多 衛生組合 管内	豊明市	503	497	-1.2%	499	-0.8%	491	-2.4%	473	-6.0%
	大府市	524	521	-0.6%	536	2.3%	531	1.3%	497	-5.2%
	東浦町	535	473	-11.6%	488	-8.8%	476	-11.0%	469	-12.3%
	阿久比町	543	557	2.6%	594	9.4%	485	-10.7%	489	-9.9%

(1) 「生ごみの水切り」

生ごみの約80%は水分です。

捨てる前に、一絞りに「ギュッと」していただくことで、水分が抜けて、ごみの重さも減りますし、ごみ処理施設で燃やすときにも、より効率が上がって、施設の維持や保全にも有効です。乾燥させてしまえば、捨てる際に動物による被害も低減できます。

※手で絞ることに抵抗があれば、道具を使用する方法もあります。

- ①ざるを使う方法
- ②いらなくなった CD や DVD を使う方法
- ③生ごみを水にぬらさない(新聞紙の上などにしばらく置くなど)

(3) 「プラスチック一括回収」

令和4年10月より、プラスチック一括回収がスタートしました。
青色の袋で出していただけのものは、「プラスチック製品」と「プラスチック容器包装のマークが付いたプラスチック」です。



左のマークのあるものと、大部分がプラスチックでできたものであれば、青色の指定ごみ袋に入れて出してください。
モバイルバッテリーなどの電池類は絶対に入れないでください。

(2) 「刈草は水分蒸発後に排出」

刈った草や剪定した枝葉は、そのまますぐには捨てるずに乾燥させましょう。

水分を多く含んだままでは、水分の重さが抜けないばかりか、ごみ処理施設の焼却効率も低下します。

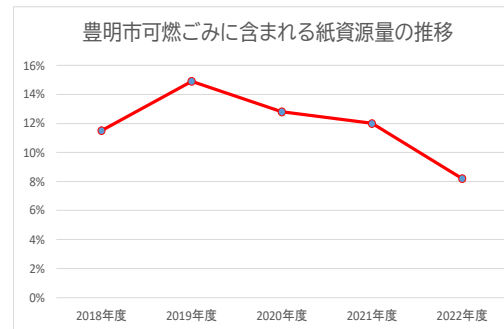
もし、土曜日や日曜日に草を刈ったなら、週明けにすぐに捨てるのではなく、数日そのまま乾燥させて、次の可燃ごみの排出の時に捨てただけだと、ごみの減量化に効果的です。

※6日間乾燥させることで、約30%程度の減量に繋がります。

(4) 「可燃ごみの中の『紙資源』」

豊明市内の燃えるごみを調査すると、紙資源が約10%前後含まれているのが現状です。

しかし、みなさまのご協力により最近では減少傾向が続いています。



分別が進行中！